



# 関西支部会報 会報

## 三医会関西支部会事務局

〒651-2133 神戸市西区枝吉1丁目16  
(医) 倫生会 みどり病院 室生 卓  
TEL 078-928-1700  
FAX 078-928-1772  
E-Mail tmuro@midori-hp.or.jp



# 三重大学医学部創立70周年記念事業を終えて

三医会 副会長 井村 正史 (S56年卒)

記念事業のもう一つの田玉として、「70周年記念誌」の発刊に携わらせて頂きました。今回の記念事業は創立50周年以後の最近の20年間の歴史を残すことをコンセプトとしています。したがって、「50年史」以後の20年間の歩みを各部局ごとに綴つて頂きました。大変なご苦労をおかけしましたが、来るべき創立100周年に向けて一つの布石を打ったものと思います。記念式典やパーティーの様子をカラー写真でたくさん掲載しましたので併せてぜひご覧下さい。（二医会会報28号にも掲載）パーティーの席上、80周年、90周年もやろうとの声がたくさん聞かれました。互いの絆を深めるにはとにかくまず集うことが必要で、また記念誌も歴史を残すうえで重要と思われます。

同窓会のキーワードは、親睦と母校愛でしょうか。何事も楽しく、という気持ちも必要でしょう。母校三重大学医学部と現在学生のみなさんや若手の同窓の先生方の

年間の医学部長（珠玖先生、鎮西先生、駒田先生、登先生）、附属病院長（坂倉先生、川村先生、葛原先生、内田先生、竹田先生）、ならびに横山實先生、水本龍一先生、岡崎通先生、田中任先生、羽場喬一先生といつた懐かしい恩師の先生方の元気なお姿を拝見・拝聴して胸にグッと込み上げてくるものがありました。式典の後の祝賀パティーでは医学部の先生方をはじめ県内外から大勢の同窓生が集い、老若男女問わず懐かしい話に大いに盛り上がりました。今回記念事業は医学部を中心に、公益財団法人三重医学研究振興会、三医会の三者が協力して実施されました。それぞれが一致協力することにより、理解を深める良い機会となりました。

下出血に対しても、直達手術または血管内治療のうち、より有利な方を選択して治療しております。治療成績は良好です。三重県の場合、急性期治療を施行する病院の偏在が問題ですが、ドクターへりの運行により、伊賀・名張地区で約15分、紀南地区でも約30分で三重大学病院救命救急センターへの患者搬送が可能になり、まだまだ問題はあるものの三重県全域をカバーできる様になりました。恐らく、ここ1~2年の間に脳卒中対策基本法が制定され、脳卒中治療体制はさらに整備されていくことになるでしょう。行政、医師会や関連診療科・部署などと協力しながら、脳卒中治療における我々の責務をしつかりと果たしていくつもりです。

また、診療だけでなく、脳卒中の治療成績の更なる向上を目指し、基礎研究、臨床研究もしつかりとおこなっています。三重県内の脳神経外科施設はほとんど三重大学関連という強みを活かし、特に若手脳神経外科医を中心とした質の高い多施設共同前向き研究に力を入れています。今年は大学院に5名が入学するなど、研究面においても更に活性化される良い予感がしています。近い将来、インパクトのある成果を発表するなど、三重県や母校の医療レベルの高さを示す一翼を担うことが出来れば嬉しく思います。

このたびは三医会関西支部学術講演会にて講演の機会をいただき感謝申し上げます。関西地区でご活躍されている皆様や、久しぶりに再会した同級生から大変刺激を受けました。また関西支部長杉本浩一先生のお計らいで、約2年前に共催の大塚製薬に収録していたいた小生の新任教授インタビューの動画を本会の冒頭で公開していただき、恥ずかしい気持ちと同時に、初心が蘇り、母校の発展に少しでも寄与しようという気持ちを新たにしました。

今後の発展を心から願っています。  
最後になりましたが、70周年記念事業にご寄付頂きました先生方、まことにありがとうございました。これからもご理解、ご協力を賜ります様よろしくお願い申し上げます。



# 三医会関西支部長 就任のご挨拶

# みどり病院心臓弁膜症センター内科

生室  
卓（S61年卒）

# 杉山茂男先生を偲んで

杉本 浩一（S42年卒）

杉山茂男先生は昭和24年卒業（医専1期）のご卒業で平成26年10月16日ご逝去されました。謹んでご報告させて頂きます。約20年前に胃ガンで手術を受けられお元気にして活躍なさつておられましたが、5年前に胃ガンが再発し再度手術を受けられ

て経過もよかつたのですが体力が次第に衰弱なさつてお亡くなりになりました。先生はご卒業後大阪に帰つて来られインターン終了後、大阪市大第一外科（白羽弥右衛門教授）に入局され昭和30年まで医局で研鑽を積まれ、その後西成区で「杉山外科」をご開業されました。大阪府医師会において「産業医委員会」において活発にご活躍なさつておられました。また同窓会活動として「三医会関西支部」を立ち上げられてその「真柱」として永い期間に亘つて支部長として会のお世話をなさつて下さいました。毎年6月に開催される「三医会総会」には毎年ご出席なさつておられしばしば大阪に帰る特急で一緒に乗つて帰ったのをよく覚えています。

「僕は近鉄の株を持つてるのでお金を支払う必要はないねん」とよく仰つておられ、車内では缶に入った「水割りウイスキー」が好物でした。

昭和24年の三医会学年理事をなさつておられ同学年のお世話役でもあり、三医会会報を読んでいて寄付受入状況の箇所で先生のお名前が掲載されているのを見て母校のことが「大好きなのだなー」を思つていました。

三医会関西支部総会は毎年2月11日の建国記念日に開催されていて先生とのお付き合いは30年近くになつています。

当時の集まりは現在より盛大でいつも50名程度の参加者があり、周りには京大、阪大の出身者が多いため三重県立大学出身者もお互いに緊密な連携を取り合つて「頑張つていこう」という強い心意気を皆さんから感じることが出来ました。先生はこの会を上手く纏めて円滑な活動となつていました。

学年のクラス旅行にもご夫婦で参加されておられその写真などを拝見させて頂きました。約10年前ご開業の場所が道路の拡張のため「立ち退く」必要が生じたためこの機会に医業からリタイヤーされ京都府精華町に転宅されました。関西支部総会が京都であつた際に5~6人でお宅におじゃまさせて頂きました。最近の趣味は「能面作り」で活躍されておられ大阪市中之島公会堂での制作発表会の、案内を毎年送つて来られるのでよくその会に行かせて頂きました。これも懐かしい思い出です。平成24年2月に神戸で開催された支部総会にはお元気に出席して下さつておられましたのに（会報25号、P169頁 写真）残念でなりません。関西支部のお世話をさせて頂く後に続く者として何とか先生が創設なさつた会をしっかりと纏めていかなければという気持ちで一杯です。

「先生、どうか天国から上手くやつているかどうかお見守り下さい」。

ここにご生前のご芳情に感謝申し上げると共に先生のご冥福をお祈り申し上げます。



# スタンフォード大学での 4年間の留学生生活

# 鶴ヶ丘東診療所

米国カリリフォルニア州スタンフォード大学フォーク心臓血管研究所に2007年5月に留学し、2011年4月に大阪に戻つて参りました。その経験を報告させていただきます。

スタンフォード大学はサンフランシスコの南へ約60キロ、ハイテク企業が集まるシリコンバレーにあるパロアルト近郊にあります。パロアルトはヒューレット・パッカード社の本社があるほかアップル、グーグル、ヤフー、インテルなどの多くのIT関連企業がその本拠を構えています。また、2004年のサービス開始以来、急速に知名度を上げたフェイスブックも、2011年までこの地に本社を構えていました。

スタンフォード大学はIT領域だけでなく、医学・生理学領域でも全米トップレベルの業績を誇り、私が留学する前年の2006年にもアンドリュー・Z・ファイア教授がRNA干渉(RNAi)の発見に対してノーベル医学・生理学賞を受賞していました。心臓外科、心臓血管外科の領域においても同様に多くの成果を残しています。私が在籍していたフォルク血管研究所の象徴的な存在であったNorman E. Shumway先生は免疫抑制療法が確立されていない時期の心移植の基礎を築いた世界的な外科医で、その臨床応用への推進力・精神は現在も脈々と引き継がれています。私の留学当時の研究分野であつた腹部大動脈瘤は現在も内科的な治療オプションがない疾患ですが、この領域の標準治療となりつつあるステントグラフト(EVAR)の開発・普及にもスタンフォード大学は大きな貢献をしています。初期のアイディアが最終的に臨床応用にまで至る背景にはスタンフォード大学の「产学協同」という実学の精神があります。私が師事したPhilip S. Tsao先生のラボでもさまざまな企業と交流があり、日々新たな技術についての議論が行われてありました。

そのような環境で私はまずジエネンティック社とコラボレーションする機会を得ました。ジェ

A composite image showing the AAA (Abdominal Aortic Aneurysm) model in mice. It includes a small inset of a mouse's abdominal area, a longitudinal view of a mouse's abdomen with a white arrow pointing to the aneurysm, a transverse view of the mouse's abdomen with a white arrow pointing to the aneurysm, and a histological section of the aneurysm tissue stained with Elastase. The histological section shows a large, irregularly shaped lumen filled with thrombus material.

ネンテックは1976年に創立されたバイオベンチャー企業ですが、売上高は日本の製薬会社の最大手である武田薬品工業を上回る巨大製薬会社です。本社はサンフランシスコ湾に面しており眼前に広がるベイエリアの風景は印象的でした。コラボレーションをしていた当時は毎日、アパートまで車での送り迎えがあり、無料のバフェットの待遇を与えられ、アメリカンドリームを体感しつつ、研究に専念することができる夢のような環境でした。当時のミッションは形成機序の異なるマウス腹部動脈瘤モデルを数種類立ち上げ、超高解像度MRでその瘤の形成過程をリアルタイム解析するというシンプルなものでしたが、當時細胞実験しか行っていなかつたTsooラボではモデルを立ち上げだけでも1年半を要し、何度も挫折感を味わいましたが、最終的には各動脈瘤モデルを画像的に一般化することで、その後に多くの仕事にもつながっていきました。もともとは内科治療の起点を見出すためのプロジェクトでしたので、マウス動脈瘤モデルを用いたDNAアレー解析や、前述のアンドリュー・Z・ファイア教授の発見したRNA干渉とも関連するmicroRNA(Mir)アレー解析、これらの結果を踏まえたantagonMirによる介入実験、臨床サンプルでの実証など、私の帰国後も研究は継続し、徐々に成果も出ています。

一方、私生活面では、カルフォルニアの温暖な気候は屋外でのレジャーに適しており、カリフォルニアワインで有名なナパワインナリーでのピクニックや、壮大な景観で名高いヨセミテ国立公園やビッグサー、モントレー、カーメルでの休日は素晴らしいリフレッシュになりました。長期休暇にはオレゴン州のクレーターレイク国立公園、ニューメキシコ州のカースルバット国立公園、ホワイトサンズ、サンタフェ、タオス、ワイオミング州のイエローストーン国立公園、さらにグランドキャニオン渓谷にも足を運びました。また、アメリカテニス協会に所属して多くの大会に参加することもできました。実績に応じたカテゴリーが細かく設定されており、どのレベルにあっても拮抗した試合を楽しめます。幸い、私の所属したチームは地区優勝する機会に恵まれ、テニスを通じても多くの友人を得ることができた充実した日々でした。

私は2014年1月に祖父の代より続く診療所を継承することになり、一般臨床に従事していますが、Tsoo先生や当時のラボメンバー、後続のポスドクとも研究を通じた交流はいまだに継続しています。留学前にはこのような状態になると想像もしていましたが、ここに綴らない限り思い出も含めて留学時代を振り返ると、改めて貴重な体験を得たと実感します。家族と多くの

人々の支えと協力のおかげで、研究、日常生活の両方において、日本では体験できない充実した貴重な日々を送らせて頂いたことに大変感謝しております。

### 平成28年関西支部 学術講演会集会・情報交換会の ご案内

#### 開催日時

平成28年2月14日（日）  
午後2時～5時

#### 開催場所

ホテルグランヴィア京都（JR京都駅直結）  
京都府京都市下京区烏丸通塩小路下ル  
JR京都駅中央口  
TEL：075-342-5511

三重大学医学部附属病院乳腺外科 小川朋子教授（H1年卒）、大阪市立総合医療センター内分泌内科 金本巨哲部長（H8年卒）の講演を予定しています。奮ってご出席下さい。



平成27年度新研修医歓迎会

9月5日（土）午後6時からJR大阪駅付近のヨドバシ梅田ビル8F  
わいわい酒場「楽」に於いて18名が出席して開催されました。

#### H27年度新研修医（10名）の勤務先（敬称略）

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1) 新 奈於美／市立伊丹病院    | 6) 小味由梨絵／耳原総合病院  |
| 2) 安積 祐樹／淀川キリスト教病院 | 7) 鈴木 茂仁／近大奈良病院  |
| 3) 西田 亮太／神戸労災病院    | 8) 永橋 裕子／宇治徳洲会病院 |
| 4) 平中 良明／神戸労災病院    | 9) 古市 拓也／済生会中津病院 |
| 5) 松川コスモ／阪大病院      | 10) 山崎 知世／市立宝塚病院 |

### 三医会関西支部役職者一覧表（敬称略）

●支部長 室生 卓（S61年）	●監査 石原 政芳（S40年）
●副支部長（各府県1名）	植松 有庭（S43年）
大阪府 薩山 充（S52年）	●勤務医会代表の理事
京都府 志馬 裕明（H5年）	岡田 行功（S49年）
兵庫県 深沢啓二郎（S61年）	林田 孝平（S50年）
奈良県 西川 勝仁（S53年）	斎藤 徹（S52年）
和歌山県 中村 光作（S53年）	習田 龍（H7年）
滋賀県 山形 高志（S51年）	豊川 貴弘（H10年）
●専務理事	●開業医会代表の理事
総務 宇野 敦彦（H5年）	細野 進（S51年）
会計 武内 真有（H16年）	倉田 順弘（S54年）
厚生 小川 佳成（S63年）	山下 宜繁（S59年）
IT 西原 承浩（H1年）	町田 英世（H2年）
辻川 薫（H5年）	西岡 良泰（H5年）
	小野 義春（H5年）
	高澤 正志（H8年）
●名誉支部長	杉本 浩一（S42年）



関西支部総会（平成27年2月1日 於 ホテルクラウンパレス神戸）